

精神障害



主な特性

統合失調症、気分障害（双極性障害、うつ病）などのさまざまな精神疾患により、日常生活や社会生活のしにくさがある人です。

精神障害は誰にでも起こりうる可能性がある病気で、早期発見・早期治療と周囲の理解で病状はかなり改善します。

ストレスに上手く対処できなかつたり、緊張しがちなため、小さなストレスでも不安になったり、疲れたりする傾向があります。

コミュニケーションをとることが苦手な人が多く、自分の困り事や希望などをうまく伝えることが難しい傾向

があります。

作業能力が低くなることがあるため、周りからは怠けているのではないかと誤解を受けやすいところがあります。

外見からは障害のあることがわかりにくいので、周囲から理解されず孤立したり、障害を他人に知られたくない人もいます。



必要な配慮

- その人らしさを尊重し、よい面を見つけるような気持ちで、普段どおり接しましょう。
- 人生の途中で障害のある状態になった人が多く、現実を見定める力が弱くなっているため、現在の状況に合

わせた目標を立てるのが難しいかもしれません。焦らずに、本人の希望をよく聞いて、できるだけそれに沿うよう支援しましょう。

- あまり神経質にならずに、障害のある人の自尊心を傷つけないよう配慮しましょう。
- 適切な治療を継続することで、症状が安定して回復する病気です。地域で安心して生活できるように支援しましょう。

